

^ハ這假名ハ、
 れども此歌を
 ハハハハハハ
 這の意とあり
 ハハハハハハ
 ハハハハハハ

此の僧正遍昭の名よめてゐるものぞ女師家と云ふを
 本邦のくはるやゝあるものなりと云ふもさうなりぬゝあひ―や
 親もあつていゝと云ふなり成べし塙本は急の歌は入ふ例のむづかし
 秋もいゝものなりはるまじやうもあつてゐるやうなり

萩乃より一少きとつらふのく階とや三句はつらふれ
 せむるもよひくちふるともハ地なをとるきともしうげり倭名
 鈔中馬鞭草和名久未豆々良其穂類鞭鞘故以名之と出
 り山家集はつらふをふハトもあげられは倭人のつらふころの
 かもしむ又まつらふどちのよめをひらうがとハ古謡やち
 可尋知ととく不審とのをせり是ハその日より人の名礼と